

	<h1 style="font-size: 4em; color: gray;">れんごう下越</h1> <p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協下越支局 2F TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>	第 134 号 2017.5.15 発行人 福井 正史 1部5円 購読料は会費に 含 En la union Esta la fueraza 団結こそ力
--	--	--

「底上げ・底支え」第 88 回下越地区メーデー

時間労働の撲滅、ディーセント・ワークの実現。
 今こそ底上げ・底支え、格差是正の実現を！



胎内地区メーデー

4月26日(水)胎内市産業文化会館多目的ホールにおいて第88回胎内地区メーデーが開催されました。当日は、市内で働く勤労者約300名が集結し、「底上げ、底支え」をテーマに団結して取り組むことを確認し、メーデースローガン、メーデー宣言並びに特別決議の提案は満場一致で採択されました。また、来賓として三宅副市長、黒岩宇洋衆議院議員(秘書代理)、佐藤浩雄新潟県議会議員ほかのご出席を賜り、激励のご挨拶をいただきました。最後は、島尾支部長の「団結ガンバロー!!」の掛け声とともに参加者全員で団結を誓い、第一部を終了しました。第二部のアトラクションでは、一等の自転車をはじめ胎内市の特産品などを景品とした恒例の大抽選会が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。なお、会場において糸魚川大火の義援金の募金活動を行いました。

(事務局長 吉田 健吾)



阿賀野地区メーデー

4月29日(祝)、阿賀野市瓢湖水きん公園で第88回阿賀野地区メーデーを開催しました。微妙な空模様という当日までの天気予報でしたが、春の爽やかな天気の中で開催することができました。阿賀野地区メーデーは、子ども連れで参加される組合員が多いのが特徴で、今年も200人以上の方から来場いただきました。斎藤支部長の「団結がんばろう」で加入単組の団結を誓い、式典の幕を閉じた後、引き続き第二部を実施。子どもまで全員参加のビンゴ大会等のアトラクションを行いました。毎年好評の阿賀野市職労現業部による豚汁の無料提供や揚げパンの100円販売が今年も行われ、揚げパンの売上金については、糸魚川大火で被災された皆さんへお送りいたしました。ゴールデンウィーク初日ということもあり、わくわくした気分の中、今年のメーデーも組合員間の交流を深める良い機会となりました。(支部長 斎藤 憲)



村上・岩船地区メーデー

4月29日、村上市勤労者青少年ホームにおいて連合村上支部内10団体・総勢334名が参加し、式典には高橋村上市長・黒岩国会議員(代理)・片野県会議員・本間村上市会議員など多くの来賓を迎えたなかで、第88回村上・岩船地区メーデー式典が開催されました。式典は、星野実行委員長の挨拶から始まり、来賓祝辞、参加単組紹介、大抽選会、プラカードコンクールと盛り上がり、市職労・県職労青年部の「暮らしの底上げ」実現のためのシュプレヒコールと実行委員長の団結ガンバローで締めくくられた後、式典参加者は雨にも負けず村上市街地をデモ行進しました。(事務局長 中山 平二)



東蒲原地区メーデー

4月29日に行なわれた東蒲原地区メーデーには7単組107人が参加しました。各単組から提案された、国内や地域の情勢に即した決議文を採択し、地域の働く仲間の団結を再確認した集会となりました。また前日のメーデー前夜祭では6単組17チーム64人が参加し、ボウリング大会を行ないました。和気藹々ながらも、レベルの高い白熱したゲームが展開されました。

両日共に約10年ぶりに参加の単組もあり、今後とも共に働く仲間として団結を誓い、式典の幕を閉じました。(支部長 西山 清志)



五泉地区メーデー

五泉支部では4月29日に五泉市福祉会館にてメーデーを開催しました。式典では、五泉市長(五十嵐副市長代理)をはじめ、多くのご来賓の皆様ご列席のもと総勢300人もの大勢の皆さんに参加していただきました。祝日の開催だったこともあり、子供連れの参加者も多くみられ、大きくにぎわいました。恒例のプラカードコンクールでは各単組の力作が集い、地元商品をかけたお楽しみ抽選会でも大きな盛り上がりを見せました。式典後にはデモ行進を行い、長時間労働・過労死防止等を地元住民にアピールしました。なお、メーデー大会中には糸魚川大火支援カンパに取り組み、集まった支援金は上越地協へ送りました。(事務局長 塚田 浩)



新発田地区メーデー

5月1日に第88回新発田地区メーデーを開催、デモ行進による市民へのアピールを行い、その後、式典を新発田市民文化会館で開催しました。第88回メーデーのテーマは「底上げ・底支え」です。だれもが安心して働き・暮らせる当たり前に社会が奪われようとしています。昨年から議論された「働き方改革実現会議」のもとで「長時間労働の是正」の実現に向け、メーデーの由来である1日24時間を、8時間は労働のため、8時間は休息に、そして残りの8時間は自分のために。5月1日に改めて“働くことを軸とする安心社会” 安心して働き暮らせる当たり前の社会への思いをより一層強めるメーデーになりました。(事務局次長 久志田 実)